

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	・理念の共有と実践	日々のケアの中で理念の意味、認識のすり合わせを行い、職員全員で共通認識し、同じ方向でケアをしていく。	毎朝の理念唱和時に理念1つ1つの意味について各自考える時間を作り、理念に対して共通の認識を持ち、同じ方向性を持ったケアの実践に活かす。	6ヶ月
2	4	・運営推進会議を活かした取り組み	参加者の増加に向けての取り組みとともに、参加者からの意見や助言等を運営に反映できるような会議となるように取り組む。	参加できるご家族をピックアップし、できるだけ多くのご家族に参加していただき、ご要望ご意見を伺う。また、施設側からもできるだけ多くの情報をお伝えし、ご家族や地域関係機関に施設の現状を把握していただく。	6ヶ月
3	26	・ケアプランと日々のケア記録がつながり、ケアプランに沿ったケアにつなげる。	ケアカルテ(タブレット入力)への移行もあり準備が間に合っていないが、入力内容や日々のケアがケアプランに沿ったものとなるようにしていく。	入力内容がケアプランに沿うよう、ケアプランの内容を各自把握し、ケアの実践につなげる。	6ヶ月
4	35	・災害対策	運営推進会議のメンバーを通して、地域の方の参加につながるような働きかけとともに、災害時に備え理解者が広がるように取り組む。	運営推進会議参加者に働きかけ、消防署をはじめ周辺マンションの住民に自施設の状況をお話しし、災害時にご協力いただけるよう働きかけを行う。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。